

令和7年度 第2回企画展

流行の仕掛人

～蔦屋重三郎と版元の仕事～

同時開催 現代に続く版元 芸艸堂



展覧会概要

浮世絵の企画・制作・販売を統括した江戸時代の出版社であり、プロデューサーでもある版元。本展ではそんな版元にスポットを当てた企画展を開催します。大展示室では歌麿や写楽を見出した蔦屋重三郎をはじめ、広重作品を手掛けた版元たちを紹介。また作品からわかる版元たちが仕掛ける工夫や版画ならではの特徴などを紹介します。

※各会期で絵画作品は全点展示入替があります。

会 期 2025年7月15日(火)～9月15日(月・祝)
Part1 7月15日(火)～8月11日(月・祝)
Part2 8月13日(水)～9月15日(月・祝)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)
休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

入 館 料 一般520円(410円) 大学生・高校生310円(250円) 中学生・小学生130円(100円)

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の70才以上の方は無料
※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料
※()は20名以上の団体料金

アクセス ・電車をご利用の場合
JR東海道本線「由比」駅下車後 徒歩25分、タクシー5分
・お車をご利用の場合
東名高速清水ICから国道1号経由約20分 ○美術館駐車場 21台(由比本陣公園 無料駐車場)

主 催 静岡市、静岡市東海道広重美術館(指定管理者: 特定非営利活動法人ヘキサプロジェクト)
協 力 アダチ伝統木版画技術保存財団、静岡県立中央図書館、静岡市立中央図書館
美術書出版株式会社芸艸堂
後 援 NHK静岡放送局



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比297-1

Tel. 054-375-4454(代) Fax. 054-375-5321 Mail. info@tokaido-hiroshige.jp

公式サイト www.tokaido-hiroshige.jp

大展示室 | 流行の仕掛人 ～蔦屋重三郎と版元の仕事～

版元[はんもと]とは

版本(印刷本)の出版本屋のことで、単なる売り広めや取り次ぎの本屋とは区別し、出版の権利や責任も担う本屋をいいます。江戸では実用書や学問的な固めの書物(物の本)を扱う書物問屋と、草双紙といわれる絵本や絵入りの娯楽短編小説などを扱う地本問屋(絵草子屋)に分かれ、浮世絵版画は後者の地本問屋から刊行されました。

展示の見どころをちょっと見せ①：蔦屋重三郎

初代蔦屋重三郎が刊行した版本・浮世絵から四代目の蔦屋重三郎が序文を書いた作品まで「蔦屋」の作品を紹介！

蔦屋重三郎 つたやじゅうざぶろう

寛延三年～寛政九年(1750～1797)



江戸新吉原に生まれ、耕書堂[こうしょどう]と称した版元で、商標は「富士山形に蔦の葉」。浮世絵では喜多川歌麿や東洲斎写楽を見出したことでも知られる江戸時代を代表する版元のひとつです。初代の没後は番頭が二代目を継ぎ、書物問屋・地本問屋としては四代目まで続きました。

歌川広重は初代没年の生まれのため、初代から刊行された作品はありませんが、三代目もしくは四代目の蔦屋重三郎から刊行された広重作品があります。

※「蔦屋」「耕書堂」の屋号のデザインはカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の商標です。



[Part1 展示作品] 歌川広重『道中膝栗毛 小田原泊り』当館蔵

展示の見どころをちょっと見せ②：広重作品を刊行した版元たち

初期の作品から晩年の作品まで、広重作品を刊行した版元たちを作品と共に紹介！



版元印



代表作『東海道五拾三次之内』を刊行
竹内孫八 保永堂

[Part1 展示作品]

歌川広重『木曾海道六拾九次之内 拾四 高崎』
当館蔵



版元印



晩年の傑作『名所江戸百景』を刊行
魚屋栄吉

[Part1 展示作品]

歌川広重『名所江戸百景 水道橋駿河臺』
当館蔵



版元印



北斎の『富嶽三十六景』も刊行
西村屋与八 永寿堂

[Part2 展示作品]

歌川広重『平忠盛』
当館蔵

※各会期で絵画作品は全点展示入替があります。

大展示室 | 流行の仕掛人 ～蔦屋重三郎と版元の仕事～

展示の見どころをちょっと見せ③：版元の仕事と売り出し方の工夫

版画になる前の直接原稿！版元が絵師に描かせた版下・画稿



〔Part2 展示作品〕歌川広重『諸國名所』(下絵・画稿) 当館蔵

展示の見どころをちょっと見せ④：絵の中に隠れた版元の宣伝

ふすま紙のデザインとして隠れている版元 伊勢屋利兵衛の商標



〔Part1 展示作品〕歌川広重『木曾海道六拾九次之内 三拾 下諏訪』当館蔵

※各会期で絵画作品は全点展示入替があります。

小展示室 | 現代に続く版元 芸艸堂

小展示室では現在でも京都にて木版印刷の書籍を刊行している版元の「芸艸堂」の協力による特別展示を同時開催！

芸艸堂[うんそうどう]とは？

芸艸堂は、明治時代から続く出版社で、所在地は京都の寺町二条です。創業当初から木版印刷による出版を多く手がけており、現在でも木版本の出版を続け、次の世代に遺す出版物の刊行にこだわっています。芸艸堂の社名は京都の文人画家 富岡鉄斎により命名されました。「芸艸」とはミカン科の多年草で、柑橘系の香気が虫よけになると書物に挟んだことから出版社にふさわしい名前として名付けられました。



【展示作品】木版画「孔雀明王像」

世界最大級の木版画。初版は1904年。光村利藻（光村印刷株式会社 創業者）により制作。アメリカセントルイス博覧会に出品。1991年再版の際、芸艸堂が制作。



関連企画

講演会

蔦屋重三郎の仲間

山東京伝の仕掛け～滑稽図案とアルファベット～

今年の大河ドラマ「べらぼう」主人公の版元 蔦屋重三郎の代表的な仲間であった山東京伝は、戯作者・絵師(北尾政演)・狂歌師・袋物や薬の商売・考証史研究者などの他多彩な才能を発揮した人物です。彼の戯作の代表作で、彼が考案したデザインと添えられた戯文を組み合わせた『小紋雅話』の内容を解説しながら紹介します。この中の図から江戸時代に伝えられたアルファベット(ABCアベセデ)の庶民への受容の様子をたどります。ここでも、山東京伝の見事な仕掛けをご覧に入れることができます。



【講師】岩崎均史(静岡市東海道広重美術館 館長)

【日時】2025年7月26日(土) 13:30～15:00

【会場】当館2階講座室 【参加費】無料 ※入館料別途 【定員】30名

【申し込み】WEBサイト・電話(054-375-4454)にて申し込み(先着順 ※定員になり次第受付を終了)

ワークショップ

浮世絵版画の実演&摺り体験ワークショップ

京都で現在に続く版元の芸艸堂の職人による、浮世絵版画制作の実演と体験ワークショップ。お子さまから大人まで参加いただけます。

【講師】芸艸堂

【日時】2025年8月23日(土) 13:30～15:30

【会場】当館2階講座室前ラウンジ

【参加費】550円 ※入館料別途 【定員】25名(要事前申し込み)

【申し込み】WEBサイト・電話(054-375-4454)にて申し込み(先着順 ※定員になり次第受付を終了)

当館学芸員によるギャラリートーク

【日時】7月27日(日)、8月24日(日) 13:00～13:30

【参加費】無料 ※入館料別途

・ミュージアムショップにて整理券をお受取りいただき、開催時間になりましたらエントランスホールにお集まり下さい。

※状況によりイベントが変更になる場合がございます。詳細は美術館ホームページをご確認ください。

広報用画像提供のご案内

展覧会広報用としてデジタルデータをご用意しております。
ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



1



2



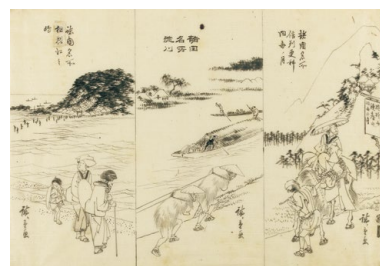
3



4



5



6

作品およびクレジット

1. 展覧会ポスターイメージ … ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art
2. 歌川広重『道中膝栗毛 小田原泊り』静岡市東海道広重美術館蔵
3. 歌川広重『名所江戸百景 水道橋駿河臺』静岡市東海道広重美術館蔵
4. 歌川広重『木曾海道六拾九次之内 三拾 下諏訪』静岡市東海道広重美術館蔵
5. 歌川広重『平忠盛』静岡市東海道広重美術館蔵
6. 歌川広重『諸國名所』（下絵・画稿）静岡市東海道広重美術館蔵

【使用条件】

- 作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等とはご遠慮ください。
- 各画像のキャプション及びクレジットを明記の上、ご使用ください。
- ご使用の際には、お手数ですが校正紙をメール添付にて担当までお送りください。
- 弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

広報用画像データ申込書

流行の仕掛人 ～蔦屋重三郎と版元の仕事～

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

☒ ご希望の作品番号にチェックをつけてください

- ☐ 1. 展覧会ポスターイメージ … ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art
- ☐ 2. 歌川広重『道中膝栗毛 小田原泊り』静岡市東海道広重美術館蔵
- ☐ 3. 歌川広重『名所江戸百景 水道橋駿河臺』静岡市東海道広重美術館蔵
- ☐ 4. 歌川広重『木曾海道六拾九次之内 三拾 下諏訪』静岡市東海道広重美術館蔵
- ☐ 5. 歌川広重『平忠盛』静岡市東海道広重美術館蔵
- ☐ 6. 歌川広重『諸國名所』(下絵・画稿) 静岡市東海道広重美術館蔵

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日

掲載予定日（コーナー名）：

【使用条件】

- 作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等のご遠慮ください。
- 各画像のキャプション及びクレジットを明記の上、ご使用ください。
- ご使用の際には、お手数ですが校正紙をメール添付にて担当までお送りください。
- 弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

申込書送付先

FAX：054-375-5321 E-mail：info@tokaido-hiroshige.jp

本美術館及び展覧会、イベント等をご紹介いただく際は、ご連絡をお願いします。

TEL：054-375-4454 FAX：054-375-5321 E-mail：info@tokaido-hiroshige.jp